



まんが:じっく



第49話 美しい伝統産業を支え続けて!

主人公の岩井耕太君は、現在地元の小学校に通う男の子。将来新聞記者になるため、地元の農畜産物の魅力について、勉強中です。農業にはまだまだ知られていないことがたくさん!今月は繭姫が登場。この地域で昔から盛んだった養蚕について紹介するよ。管内産の繭で作られた美しい着物で成人式なんてス・テ・キ♡

5月下旬は養蚕始め

花泉町涌津の飼育場にふ化したばかりのカイコの赤ちゃんが到着します

生まれたばかりの赤ちゃんは黒いほぐして毛むくじやります!

当地方は昭和初期から養蚕が盛んな地域!昔は千厩と竹山(現在の市役所)に製糸工場があったほどです

また蚕神を祭ったお宮が管内に多く養蚕が盛んな様子がかがえますね

花泉町で飼育したカイコの赤ちゃんは3回脱皮した後に各生産者へ渡します

花泉町油島の羽養権現社跡

繭姫 (まゆひめ)

6月

3回脱皮した稚蚕を譲られ飼育。繭に。

繭は業者で乾燥され繭玉人形を皆で制作。

授業で観察しているんだよね

弥栄小学校の3年生が

そこから繭まで育てあげるのですがその様子を...

知っているよ!!

一方、管内の生産者が作った繭は京都の着物屋さんに取り寄せられますが途中、山形県酒田市で糸になり丹後(京都府北部)・長浜(滋賀県東北部)で美しい反物になって京友禅の晴れ着になります

この白い繭が美しい着物に!? 見てみたいなあ

じゃあ京都へ見に行きましよう

とらこうで創業460余年の「千總」へ

京都本店は着物の他収蔵品も無料で見学できます

こんなに美しい友禅染めになるんだ!

県内産(一閩産)の繭で作った振袖で成人式はいかがですか?

JAいわて平泉養蚕部会(11人)と岩手県を含む全6県の11JAが千總純国産絹製産グループと提携。管内には提携グループの2割を出荷する主要産地

編集後記

▽農作業が本格化しトラクターのエンジン音が田畑に響いています。田んぼに張られた水がまぶしく、私にとって春が来たことを改めて実感する時でもあります。JAでは青年部や女性部が中心となり、管内の幼稚園や小学校などで食農教育を行っています。野菜苗の無償提供に取り組み、食の大切さや農業への興味の醸成に努めています。水田学習や野菜作りが始まるこの時期は、農業に触れ無邪気な笑顔を見せる子どもたちとの出会いが楽しい季節です。(浅利)

▽4月より広報担当になりました三上と申します。今月号から広報誌の取材に同行し、編集作業をしています。情報を正確に伝えることや、取材で訪問するとイメージと違ったりと難しさを実感しています。これからも皆さまのご指導とご協力をいただきながら見やすい広報誌を目指していきたいと思っております。組合員、利用者の皆さまにJAの活動を知っていただき地域が元気になるような広報誌づくりに頑張っていきたいと思います。(三上)

